

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果(平成24年度)の概要

2. 分野等別状況 (2)地域活性化総合特区 ①グリーン・イノベーション分野(1/10)

	評価区分(*1)	総合評価 (IとIIの平均値にIIIを加味)	I 目標に向けた取組の進捗に関する評価	II 支援措置の活用と地域独自の取組の状況	III 現地調査時の指摘事項及び対応状況等(*2)	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
たたらの里山再生特区(雲南市)	準	A 4.8	A 4.6 進捗度 ・新たな雇用者数 320% ・里山放牧面積 104% 等	B 3.9 規制の特例等 ・農地法第3条第2項の農地取得に係る下限面積要件の緩和 等 財政支援等 ・農山漁村活性化プロジェクト支援交付金(交流促進施設の整備) 等 地域独自の取組 ・地域づくり活動等交付金(地域自主組織の活動支援) 等	+0.5	<p>・意欲的な取組(※1)が着実に<u>行われている</u>と評価できる。</p> <p>・新規雇用者拡大、林地残材利用や里山放牧への取組を<u>着実に進めつつある(※2)</u>。</p> <p>※1: 取組①「里山のエネルギー利用の推進」: 里山の新たな経済的価値を、地域・市民総がかりによるエネルギーの地産地消活動により生み出す。そのため、持続可能なバイオマスエネルギー利用に係るシステム構築及び再生可能エネルギーの創出に総合的に取り組む。</p> <p>取組②「里山の食料供給機能の復活」: 市内企業による里山放牧を推進する。また、耕作放棄地や里山周辺農地を中心に鳥獣被害の少ないスパイス等の栽培に取り組み、戦略的な6次産業化を進め、食の地産地消を強化する。</p> <p>取組③「里山の小規模多機能自治への挑戦」: バイオマスエネルギー事業への参画、里山放牧への支援などを通じ、地域自主組織を中心とするコミュニティビジネスの推進に取り組む。また、積極的なUIターン¹の推進、大学との連携等による地域の課題解決にも取り組み、多様な担い手を育成する。</p> <p>※2: 評価指標(1)「新たな雇用者数」(H24年度目標)累計20人、(実績)累計64人、進捗度320%。評価指標(4)「里山放牧面積」(H24年度目標)138ha、(実績)143ha、進捗度104%。</p>

◆評価書は[こちら](#)

◆評価結果は[こちら](#)

*1)「正」とは正評価、「準」とは準評価を意味する。 *2)「Ⅲについては、「地方公共団体による総合評価の状況」についても評価している。